

## 重度心身障害児が地域で楽しく生きられるよう 親グループが地域と触れ合う場をつくりました！

5日(土曜) 杉並区立こども発達センター内設置のたんぽぽ園(高井戸東1-18-5)で、重度心身障害児親子の会「みかんぐみ」が、身体の不自由な子どもたちと地域の人との触れ合いの場をつくらうと、リトミックを行いました。子どもたちは大喜びした様子で、身体をできるだけ大きく動かし、楽しんでいました。

杉並区立こども発達センター内に設置するたんぽぽ園は、1～5歳児の中重度の知的障害児及び肢体不自由児を対象に、発達段階に合わせた生活指導を行う、通園型の療育施設です。近年は、医療的ケアが必要な重度心身障害児も通園しており、その児童数は、平成20年度は2名でしたが、平成26年度には9名となり、年々増加傾向にあります。そのため、通園に際して子どもに付き添う親の姿も増え、次第に親同士のつながりが広がっています。

重度心身障害児親子の会「みかんぐみ」(設立:平成26年4月、代表:川田かおり、会員数:13組)は、そんな親同士が、将来的に親がいなくなっても、子どもたちが楽しく安心して生きられる地域社会をつくりたいと、想いを語り合う中で発足しました。主な活動は、子どもの体験活動と、親の学習活動・情報交換です。子どもの体験活動では、共に遊ぶボランティアや、医師、看護師、ヘルパーなどが参加し、一緒に運営を行っています。

5日、こども発達センターで、みかんぐみが、身体の不自由な子どもたちのため、リトミックの体験活動を行いました。参加したのは、重度心身障害児とその家族約30名のほか、チラシ等の呼びかけで集まった学生や医療従事者のボランティア6名、また、みかんぐみのメンバーなどを加えると、総勢50名近くになりました。



普段、これほど多くの人と一堂に会して交流する機会の少ない子どもたちは少々興奮気味。学生ら地域のボランティアから優しく支えの手が伸び、子どもたちは大喜びで音楽に合わせて、できるだけ大きく手足を動かすようにして楽しんでいました。

代表の川田さん(39歳)は、「重度心身障害の子どもたちは、地域の人と触れ合うことが難しいので、地域の方が参加してくださるのはとても貴重です。まだ始めたばかりの活動ですが、これから協力者を募りつつ、障害のある子どもたちへの理解を広げていきたいです」と話しています。

みかんぐみについての問合せ

TEL:090-9345-3081(川田)

MAIL:[info\\_mikangumi@googlegroups.com](mailto:info_mikangumi@googlegroups.com)

公式FB <https://m.facebook.com/suginamimikangumi>

### 【報道機関 問い合わせ先】

みかんぐみ(代表:川田)

TEL:090-9345-3081

こども発達センター たんぽぽ園

TEL:5317-5661(代表)

総務部広報課

TEL:3312-2111(代表)